

平成23年度 江東区協働事業提案制度 実施事業報告書

江東区で実施している協働事業提案制度で、平成22年度に採択され、昨年度区と協働で実施した2事業につきまして、各実施団体より受けました事業報告および江東区区民協働推進会議委員からの意見を報告します。

[目次]

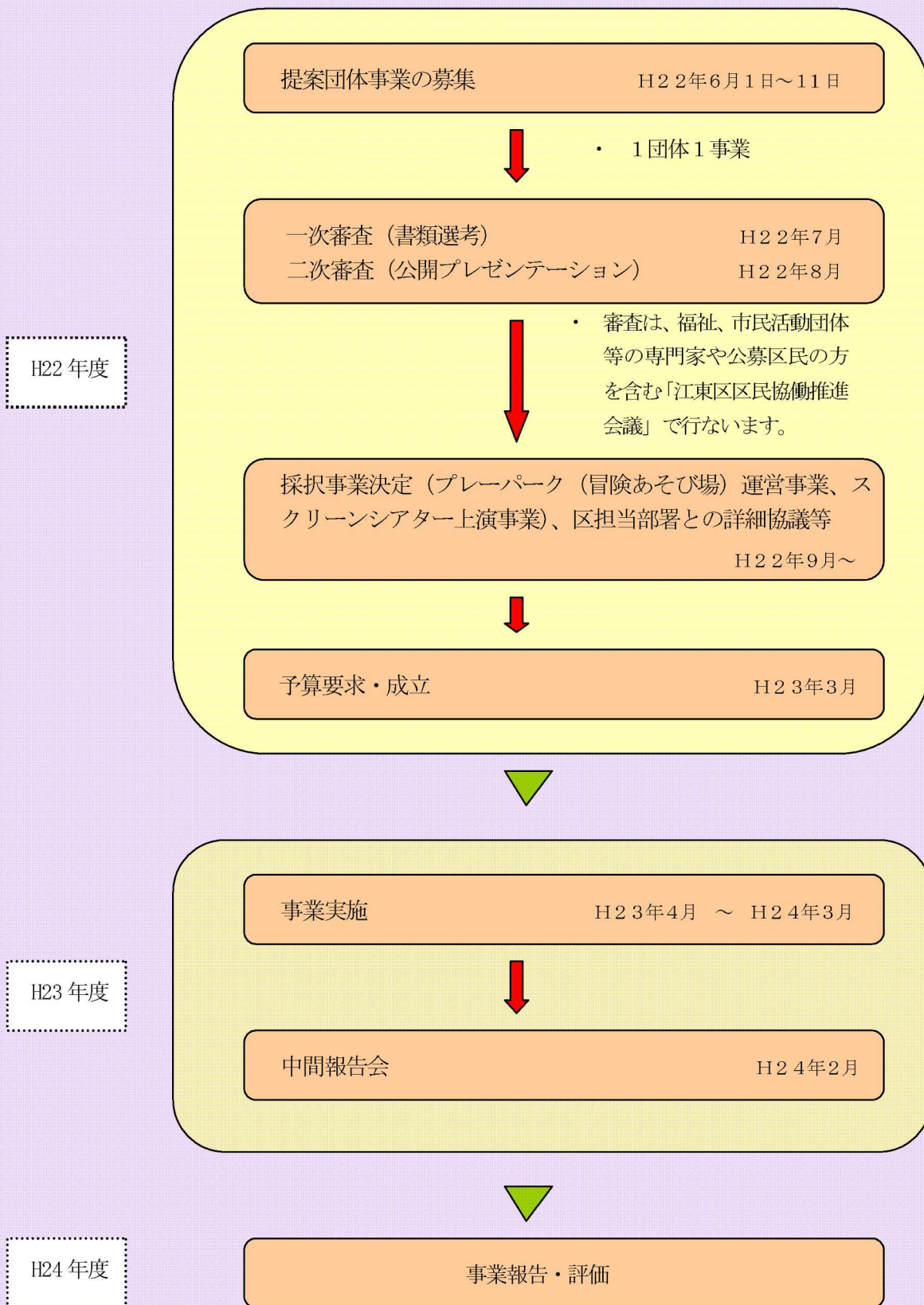
1. 江東区協働事業提案制度概要 1
2. 平成24年度江東区区民協働推進会議委員名簿 2
3. 協働事業結果報告書	
(1) スクリーンシアター上演事業 3
(2) プレーパーク（冒険あそび場）運営事業 5
4. 江東区区民協働推進会議委員意見書	
(1) スクリーンシアター上演事業 7
(2) プレーパーク（冒険あそび場）運営事業 8

江東区地域振興部区民協働推進担当

1. 江東区協働事業提案制度 概要

地域で活動する市民活動団体等の皆さんから、区と共に取り組むことで「こんな課題を解決できる」「よりよいまちをつくることができる」といったアイデアを、協働事業として募集します。

この制度によって選考され採択された事業は、提案団体と区が協議を重ね、協働により事業を実施していきます。



2. 平成24年度江東区区民協働推進会議委員名簿

学識経験者	◎安藤 雄太	東京ボランティア・市民活動センターアドバイザー
	○辻 浩	日本社会事業大学教授
中間支援組織	枝見 太朗	財団法人 富士福祉事業団理事長
区民	中沢 幸子	公募委員
	名取 正	公募委員
市民活動団体	本間 恵	特定非営利活動法人 NPO・えん
産業団体	谷口 理恵	東京中小企業家同友会 江東支部副支部長
公益活動団体	宮崎 英則	社会福祉法人 江東区社会福祉協議会 江東ボランティア・センター次長
	梅村 英明	公益財団法人 江東区文化コミュニティ財団 管理課長
区職員	鈴木 信幸	地域振興部長
	伊東 直樹	地域振興部区民協働推進担当課長

◎…会長 ○…副会長

平成23年12月13日

江 東 区 長 宛

団 体 名 朗読の会 マザー・グース

団 体 所 在 地 江東区

代表者職・氏名 品田 礼子

協働事業結果報告書

平成22年度江東区協働事業提案制度採択事業の実施について、次のとおり報告します。

事業名称	スクリーンシアター上演事業																				
事業の実施期間	23年7月25日 ～ 23年11月15日																				
実施事業の概要	スクリーンシアター上演と手遊び																				
※詳細については「具体的事業内容」に記入し、ここでは要約して欄内に収まるように記入してください。	<p>きっずクラブ 2ヶ所 小学校 7校</p>																				
具体的事業内容	<p>《上演場所の下見・打ち合わせ》 6/28、8/2、9/20、9/26、9/30(2校)、10/4、10/7、10/18</p> <p>《上演》</p> <table border="0"> <tr> <td>7/25 北砂きっずクラブ (参加者)70名 (従事者)31名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8/23 豊洲きっずクラブ</td> <td>140名 23名</td> </tr> <tr> <td>10/20 深川小学校</td> <td>102名 25名</td> </tr> <tr> <td>10/24 数矢小学校</td> <td>91名 24名</td> </tr> <tr> <td>10/27 第二辰巳小学校</td> <td>95名 22名</td> </tr> <tr> <td>10/31 豊洲北小学校(2回)</td> <td>①114名 23名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>② 76名</td> </tr> <tr> <td>11/ 2 東砂小学校</td> <td>46名 26名</td> </tr> <tr> <td>11/10 第四砂町小学校</td> <td>88名 27名</td> </tr> <tr> <td>11/15 有明小学校</td> <td>29名 26名</td> </tr> </table> <p>《内容》 スクリーンシアター「泣いた赤おに」「ちいちゃんのかげおくり」 ただし、豊洲北小学校は、教育委員会の要請により、内容を変更し、「泣いた赤おに」「八方にらみ猫」を上演。</p>	7/25 北砂きっずクラブ (参加者)70名 (従事者)31名		8/23 豊洲きっずクラブ	140名 23名	10/20 深川小学校	102名 25名	10/24 数矢小学校	91名 24名	10/27 第二辰巳小学校	95名 22名	10/31 豊洲北小学校(2回)	①114名 23名		② 76名	11/ 2 東砂小学校	46名 26名	11/10 第四砂町小学校	88名 27名	11/15 有明小学校	29名 26名
7/25 北砂きっずクラブ (参加者)70名 (従事者)31名																					
8/23 豊洲きっずクラブ	140名 23名																				
10/20 深川小学校	102名 25名																				
10/24 数矢小学校	91名 24名																				
10/27 第二辰巳小学校	95名 22名																				
10/31 豊洲北小学校(2回)	①114名 23名																				
	② 76名																				
11/ 2 東砂小学校	46名 26名																				
11/10 第四砂町小学校	88名 27名																				
11/15 有明小学校	29名 26名																				

<p>協働の成果</p> <p>※この事業で取り組もうとした課題は、どこまで達成できましたか。</p>	<p>平和と命と助け合う心の大切さを伝えたいという目的で企画した事業です。</p> <p>子どもたちの感想文の文集をいただきましたが、映像・音響とともに聞くことで、より鮮明に物語を感じてもらえたようです。上演中、真剣に聞く子どもたちの様子を見ても、この目的・課題は、ほぼ達成できたと思います。</p>
<p>協働の効果</p> <p>※区と協働したことによって、どのような効果が得られましたか。</p>	<p>教育委員会、放課後支援課のご協力を得られたので、計画通り、9か所の訪問を実現できました。</p>
<p>今後の活動展開</p> <p>※この事業で取り組んだ課題に対し、貴団体は今後どのような活動を展開していきますか。</p>	<p>今後も、教育委員会指導室、放課後支援課のご協力をいただいたり、直接、アプローチしたりして、機会があるごとに積極的に活動してまいります。</p> <p>今回は3年生対象でしたが、どの学年にも対応できます。また、大人の皆さんにも提供して、楽しんでいただけたらと思います。</p>
<p>自由意見</p> <p>※事業実施を通じて気づいたこと（新たな課題、実施体制、参加者の声等）を記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「協働事業」ということで、事前のフォローがあったのかと思っていたのですが、下見の連絡の段階から、事業についての理解がされていませんでした。 ・学校により、対応の差が大きかったようです。 ・実施時間について、再考が必要だと思えます。 ・練習を重ね、また、上演が円滑に進むよう協力しあったことで、私ども会員どうしの団結力が、以前に増して強くなったと感じています。 ・上演後、数校から、感想文の文集をいただき、感激しました。

平成 24 年 3 月 31 日

江東区長 山崎 孝明 殿

団 体 名 木場プレーパークぼうけん隊
 団 体 所 在 地 江東区
 代表者職・氏名 宇佐見 靖子

協働事業結果報告書

平成 22 年度江東区協働事業提案制度採択事業の実施について、次のとおり報告します。

事業名称	プレーパーク(冒険あそび場)運営事業																																
事業の実施期間	23 年 4 月 7 日 ~ 24 年 3 月 31 日																																
実施事業の概要	木場プレーパークぼうけん隊は、平成 19 年 3 月より毎月 1 回、毎月第 2 土曜日に都立木場公園南の冒険広場にて、プレーパークを開催しています。プレーパークは、「危ないからダメ」ではなく、子どもたちの自由な発想で、子どもたち自身が作り出す遊び場です。親や地域の人たち、プレーリーダーが見守り、誰もが自分らしく思いっきり自由に遊ぶことができ、赤ちゃんから小学生、もっと大きな子どもたちもやってきます。自然やさまざまな人との関わりの中で、子どもたちは遊びを通じていろいろなことを感じながら生きる力を育んでいきます。そんなプレーパークの存在を江東区内にもっとアピールしていきたい」…そんな思いで協働事業提案制度に手を挙げました																																
具体的事業内容	<p>【23 年度木場プレーパークぼうけん隊 活動実績と参加者数】</p> <p>★木場プレーパーク(毎月第 2 土曜に都立木場公園南の冒険広場にて開催) 計 10 回開催(木工あそび・泥あそび・ロープワーク・水あそびなど)</p> <p>★出張プレーパーク(場所:都立亀戸中央公園)</p> <p>★「もっともっと外遊び!行ってみようよ プレーパーク」講演会:川崎市子ども夢パーク所長 西野博之さん(場所:江東区教育センター)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 月 9 日(土)</td> <td>雨天により中止</td> </tr> <tr> <td>5 月 14 日(土)</td> <td>315 名</td> </tr> <tr> <td>5 月 28 日(土)</td> <td>雨天により中止</td> </tr> <tr> <td>6 月 11 日(土)</td> <td>雨天により中止</td> </tr> <tr> <td>6 月 24 日(金)</td> <td>84 名※江東区教育センターにて講演会開催</td> </tr> <tr> <td>7 月 9 日(土)</td> <td>160 名</td> </tr> <tr> <td>9 月 10 日(土)</td> <td>95 名</td> </tr> <tr> <td>10 月 1 日(土)</td> <td>235 名</td> </tr> <tr> <td>10 月 8 日(土)</td> <td>167 名</td> </tr> <tr> <td>11 月 5 日(土)</td> <td>410 名※亀戸中央公園にて出張プレーパーク開催</td> </tr> <tr> <td>11 月 12 日(土)</td> <td>223 名</td> </tr> <tr> <td>12 月 12 日(土)</td> <td>146 名</td> </tr> <tr> <td>1 月 14 日(土)</td> <td>122 名</td> </tr> <tr> <td>2 月 11 日(土)</td> <td>177 名</td> </tr> <tr> <td>3 月 10 日(土)</td> <td>30 名※悪天候のため、防災かまどベンチでの火おこし体験のみ実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>23 年度 合計参加者数:2164 名</p>	開催日	参加者数	4 月 9 日(土)	雨天により中止	5 月 14 日(土)	315 名	5 月 28 日(土)	雨天により中止	6 月 11 日(土)	雨天により中止	6 月 24 日(金)	84 名※江東区教育センターにて講演会開催	7 月 9 日(土)	160 名	9 月 10 日(土)	95 名	10 月 1 日(土)	235 名	10 月 8 日(土)	167 名	11 月 5 日(土)	410 名※亀戸中央公園にて出張プレーパーク開催	11 月 12 日(土)	223 名	12 月 12 日(土)	146 名	1 月 14 日(土)	122 名	2 月 11 日(土)	177 名	3 月 10 日(土)	30 名※悪天候のため、防災かまどベンチでの火おこし体験のみ実施
開催日	参加者数																																
4 月 9 日(土)	雨天により中止																																
5 月 14 日(土)	315 名																																
5 月 28 日(土)	雨天により中止																																
6 月 11 日(土)	雨天により中止																																
6 月 24 日(金)	84 名※江東区教育センターにて講演会開催																																
7 月 9 日(土)	160 名																																
9 月 10 日(土)	95 名																																
10 月 1 日(土)	235 名																																
10 月 8 日(土)	167 名																																
11 月 5 日(土)	410 名※亀戸中央公園にて出張プレーパーク開催																																
11 月 12 日(土)	223 名																																
12 月 12 日(土)	146 名																																
1 月 14 日(土)	122 名																																
2 月 11 日(土)	177 名																																
3 月 10 日(土)	30 名※悪天候のため、防災かまどベンチでの火おこし体験のみ実施																																

<p>事業の成果</p>	<p>下記に参照した過去の参加者数をみればわかるように、昨年度プレーパークに参加した人数は 22 年度を比較すると、約 3 倍近くに増えました。その点では協働事業として取り組んだ結果、区内に広くプレーパークの存在を告知することができたと思います。</p> <p>また、別途添付した報告リーフレットのアンケートによると、多くの区民が安心して子どもを外遊びさせることができる環境を求めています。今後、行政の子育て支援施策として、プレーパークの推進が求められていることもわかりました。</p> <p>※参考資料：合計参加者数の過去実績との比較</p> <table border="0"> <tr> <td>23 年度</td> <td>合計参加者数：2164 名</td> </tr> <tr> <td>22 年度</td> <td>約 780 名 (年間 10 回開催)</td> </tr> <tr> <td>21 年度</td> <td>約 880 名 (年間 11 回開催)</td> </tr> <tr> <td>20 年度</td> <td>約 460 名 (年間 9 回開催)</td> </tr> <tr> <td>19 年度</td> <td>約 200 名 (年間 8 回開催)</td> </tr> </table>	23 年度	合計参加者数：2164 名	22 年度	約 780 名 (年間 10 回開催)	21 年度	約 880 名 (年間 11 回開催)	20 年度	約 460 名 (年間 9 回開催)	19 年度	約 200 名 (年間 8 回開催)
23 年度	合計参加者数：2164 名										
22 年度	約 780 名 (年間 10 回開催)										
21 年度	約 880 名 (年間 11 回開催)										
20 年度	約 460 名 (年間 9 回開催)										
19 年度	約 200 名 (年間 8 回開催)										
<p>協働の効果</p>	<p>私共には事業収入がないため、運営費などは助成金を申請して綱渡りで運営をしてきました。協働事業という点で、1 年間安定した継続活動を行うことができ、より子どもたちに向き合うことに重点をおいた活動ができました。また、各所へのちらしの配布もあり、地域で活動している社会福祉士会など他団体とのつながりもでき、現在は、江東区で避難生活を送る福島の被災者の家族の皆さんの支援活動のお手伝いもしています。</p>										
<p>今後の活動展開</p>	<p>昨年度、協働事業運営中に、管轄の子育て支援課から平成 24 年度も引き続き行政としてプレーパーク事業の推進を進めていく、というお話がありました。また、子育て支援センターとの連携という点で、24 年度はプレーパーク事業をやっていく方針になっていましたが、残念ながら、お話が進んでいません。子どもが自由に外遊びできる場としてだけでなく、地域の子育て広場として、また支援が必要な親や子どもたちをいち早く見つけ出し、手を差し伸べる「アウトリーチ」の場として、区と一緒に行政課題を解決するための活動ができたらと思っています。</p>										
<p>自由意見</p>	<p>江東区の協働事業提案制度の最初の実施団体として、行政の方々とともに、手探りで活動を続けていきました。お互いに切磋琢磨し、行政課題を解決していくためには、やはり単年度での運営は非常に難しいものがあります。もちろん、この事業が区民のニーズにあっているか、行政課題の解決に役立つものなのか、厳しい査定が必要だと思いますが、協働事業を単年度で終わらせるのではなく、継続した事業として展開し、その必要性に応じて施策として取り上げていく、という流れを期待します。</p> <p>このままでは、単に「協働事業をやりました！」という打ち上げ花火的な事業になってしまい、せっかく 1 年間以上かけて市民と行政が積み上げてきた成果を今後にかすことができません。今後の協働事業の運営にも大きく関わってくると思いますので、ご検討頂けますよう、よろしくお願い致します。</p>										

平成22年度協働事業提案制度採択事業 江東区区民協働推進会議委員意見書
(平成23年度実施事業)

事業名	スクリーンシアター上演事業		
■団体名	朗読の会 マザー・グース		
■担当課名	指導室	口関係課名	放課後支援課
事業費 (予算額)	689,981円 (695,009円)	行政	689,981円
		団体	0円

◆ 江東区区民協働推進会議 委員意見 ◆

- ・第二次大戦において大きな空襲の被害を受けた江東区において、平和を考えるスクリーンシアターを多くの子どもに見せることができたのは大きな成果です。とりわけ、教育委員会と協働することで、多くの小学校で教科の学習と連動させて上演できたことの意義は大きいと考えます。今後、このような市民活動が学校で活動できるようにするための手順を明確にすることで、さらに協働事業が発展することが期待されます。
- ・実施団体・区ともに事業の効果、有効性について認めているにもかかわらず、新規の学校での上演依頼につながっていないのは残念でなりません。22年度内に十分な話し合いの上でその辺の仕組みづくりを行なうべきだったと考えます。
- ・今後、今回実施できなかった小学校でも、順次取り組めるよう、教育委員会等あらゆる機会に意識的に紹介活動を進め、また団体側も声がかかるのを単に待つのではなく、今回の試みの実績をPR材料に、積極的な働きかけを工夫することが必要だろうと思います。団体の自立的な活動が促進されるよう、行政側は側面からのサポートを継続することを望みます。
- ・協働事業提案制度の初年度採択事業として、市民、行政双方に協働の意義を浸透させる役割を十分に担った事業だったと評価します。

◆ 江東区区民協働推進会議 総合意見 ◆

江東区協働事業提案制度を取り入れてから最初の年度であったこともあり、団体側、行政側、双方に戸惑いが見られました。それでも協働することの意義とプロセス等をふまえながら、それぞれから課題と展望が出されました。当推進会議において双方からのヒアリング等を経て、総合的意見を集約させていただきました。

朗読の会マザー・グースはボランティア活動として長年の経験および実績をふまえ、スクリーンシアターによる東京大空襲などを伝える平和活動を小学校の児童に対し行いました。この協働内容は、江東区という地域性ならではの活動であり、団体、区の双方においても目標設定は高い評価でした。また、市民の目から見た平和について子ども達にわかりやすく伝えられたと言えます。

一方、協働事業として取り組むにあたり、多少の事務的な行き違いはあるものの、団体側としては協働することにより学校側との関係が円滑にいったと評価しています。区も専門性・特性が活かされたと評価しています。

今回の協働の取組みは最初ということもあり、双方の理解を得るため十分な時間的なものが足りなかったという共通の意見もありました。

推進会議としては、多少の課題は残しつつも協働事業として前向きに評価します。

平成22年度協働事業提案制度採択事業 江東区区民協働推進会議委員意見書
(平成23年度実施事業)

事業名	プレーパーク(冒険あそび場)運営事業		
■団体名	木場プレーパークぼうけん隊		
■担当課名	子育て支援課	□関係課名	放課後支援課、水辺と緑の課
事業費 (予算額)	1,770,474円 (1,886,434円)	行政	1,770,474円
		団体	0円

◆ 江東区区民協働推進会議委員意見 ◆

・プレーパーク事業は全国的に盛んですが、今回、行政との協働により、地域にとっても活動団体にとっても今後の課題を見つけることに役立ったと思われます。協働することにより、今まで参加したことのなかった子ども達も数多く参加することができ、また、親にとってもプレーパークでの外遊びを子どもに体験させるきっかけが生まれ、新たな交流が生まれたことが想像できます。今後は支援会員を募るなど、財政的に自立して事業を展開する道を探っていただきたいと思います。

・区の広報力を活用することで、子ども達に自由な外遊びの機会を提供する本事業の参加者数が増えたことは一定の成果だと考えます。

・雨天による中止が4回あったので、子ども達の遊び場事業を定着させるためにも、開催に向け次の週を予定しておく等開催の計画性がもっとほしいと思いました。

・団体が従来から展開している事業に対して、協働をどう進めるかの方向性について、さらに協議を深めるとより一層良かったと思います。

◆ 江東区区民協働推進会議 総合意見 ◆

プレーパークは児童の健全育成の方向からも全国的に広がっており、地域状況により活動や運営にはそれぞれ工夫が必要です。今回の協働事業の取組みをとおして、児童の外遊びの必要性、大切さを理解してもらうとともに、若い子育て世帯が急増している地域で実施できたことは一定の成果といえます。また、外遊びであることを含め、天候などにより左右されたり、当初想定した子どもの対象年齢に違いがあるなど、予定通りにはいかなかった部分もありましたが、団体及び区の双方の評価は良好でした。

区としても児童館・学童の取組みと関連させ、協働することでプログラムメニューが多岐に広がり、また、地域の大人達が子育てと一緒に関わる機会が得られたなどの評価が得られました。

一方、双方の十分な相互理解まで至らずに実施し、終了しなければならないという、協働事業の単年度制であることによる限界も見えてきました。

協働することにより区の広報など多くの区民に知れるところとなり、この機会を利用して、団体として会員や理解者を増やすなど組織強化を図ることも大切なことである、との意見が推進会議としてもありました。